

平成28年11月14日

豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 杉浦光男

平成28年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年月日	視察先	視察項目及び成果等
平成28年10月17日	千葉県市川市	・PFI事業について
10月18日	静岡県富士市	・情報指令センターについて
"	" 菊川市	・子ども議会について ・議会報告会 "
10月19日	" 島田市	・図書館自動貸出しシステムについて

豊明市議事課
28.11.14
分類 . . . 30-10-5-1
可・否・一採否・一時否
第660号受付

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

新風とよあけ会派視察報告

豊明市議会議員長殿

杉浦 光男

下記の通り会派視察を実施しましたので報告します。

記

視察日 平成28年10月17日(月)～19日(水)

視察先及び視察項目

- | | | |
|--------|---------|------------------|
| 10月17日 | ・千葉県市川市 | PFI事業について |
| 10月18日 | ・静岡県富士市 | 情報指令センターについて |
| | 菊川市 | 子ども議会、議会報告会について |
| 10月19日 | ・静岡県島田市 | 図書館自動貸出しシステムについて |

1 市川市PFI事業について

(1) PFI制度 (Private Finance Initiative)

- ・ 公的部門がこれまで提供してきた社会資本の整備を民間資本にゆだねること

(2) 事業の目的

- ・ 地域のニーズに応じた学校施設の複合化

(3) 豊明市に応用できること

市川市のPFI事業で事業化までの経緯の中で重要な点として学べることは、

- ・ 業者の選定について (選定方法、選定体制)
- ・ 予想外の事態に対する負担増について
- ・ 議会の関わり方 (説明を受けること、合意形成等)

○業者の選定について

民間事業者選定委員会を設置することは必須である。委員について外部委員だけで構成するのか、または、外部委員及び市の職員で構成するのかの課題、人数

○予想外事態に対する負担増について

事前にリスク分けを明確にしておく。

○議会の関わり方

PFI事業においては、債務負担行為の設定、契約は議会の議決事項である。委員会、本会議での質疑や議決は議会、議員の中心的な

責務である。

議会、議員の視点は

財政支出の削減が実現できるか。

民間事業者が管理することの合理性とサービスや品質面での利点
将来的な維持、管理、運営について

2 富士市 情報指令センターについて

(1) 豊明市に示唆をあたえる富士市の防災の考え方

災害から身を守るには、まず、自分の住むまちの災害の地域性を知り、
具体的に災害のイメージをもつことが重要である。

この考え方は豊明市民にも示唆をあたえる。

(2) 富士市の地域性より多様な自然災害への対応、取組みがある。地震、津波、液状化、大雨による災害、火山（富士山）

(3) 消防指令センターの各種比較

H28.4.1

		尾三消防組合・豊明市・長久手市 指令センター	富士市・富士宮市 指令センター
管轄人口	人	314,747	391,257
管轄世帯	世帯	125,341	156,483
管轄面積	K㎡	226	634
消防職員数	人	342	551

(4) 最先端の技術を駆使した高機能消防指令システム及消防救急デジタル無線設備を導入し平成27年9月10日から運用を開始した。

- ・統合型位置情報通知システムにより迅速に通知場所を特定
- ・GPS機能活用した車両動態管理システムにより全車両を管理
- ・災害情報共有システムにより災害の情報を市の災害対策本部と共有し総合的な対応をはかっている。

(5) 消防の広域化に向かっている今日、尾三、豊明 長久手の消防指令センターを中心に災害への取組みを図っていきたい。

3 菊川市 子ども議会、議会報告会について

○子ども議会

(1) 目的

子どもたちの議会や市政に対する自由な意見・提言を聞いてまちづくりの参考にする。

(2) 参加対象者、テーマ

- ・子ども議員17名 小学6年生各クラス1名
- ・テーマ 「こんなまちにしたいな 未来の菊川」

(3) 実施方法

- ・1名原稿用紙3枚程度の発表とする。時間は約5分

(4) 菊川市・議会より説明をうけての所感

- ・こども議会というより「小学6年生の主張」との感をうけた
- ・豊明市も来年、子ども議会を開く予定なのでその位置づけ、意義、実施方法など検討していく。

○菊川市 議会報告会について

(1) 目的

見える議会・開かれた議会をめざして報告会を開催する。

(2) 実施方法

- ・市全体を11地区に分けて実施、かつ、各地区の報告会へ参加できなかった方のために全体会を一回開催する。
- ・議員を4班に分ける。

(3) 平成28年度 報告テーマ

- ・明日を拓く政策研究に取り組んだ ・農業、茶業の課題と戦略
- ・原発再稼働の請願 ・保育料の見直し
- ・健康づくりで医療費の抑制

(4) 参加者は1地区で約40名～60名、全体で約500名前後

(5) 所感

- ・大変すばらしい、成果が上がっていると思える。豊明市議会の報告会は再考したい。

4 島田市 図書館自動貸出しシステムについて

(1) 建物 中心市街地交流拠点施設、1階の一部と2階～4階を市が取得、多彩な遊びができるこども館や島田図書館を配置。

(2) 交流拠点施設であり規模も大である。

- ・読書通帳（H24年度より）、これは子どもの読書推進がねらい、読んだ本を記録して貯めることができる制度
- ・雑誌スポンサー制度（H23年度より）、現在、スポンサー数36事業者、雑誌数62誌 ・自動貸出機の導入による仕事量の増

(3) 所感

職員数、仕事量 事業の性質など様々な要素や条件より費用対効果だけでは、はかれないと考えられる。